

管内関係機関 担当者 様

感染症発生動向について

このことについて令和6年第16週(4月15日～4月21日)の動向をお知らせします。

定点あたり患者数(1医療機関当たりの平均報告数)

感染症の種類	県北保健所管内 (平戸市、松浦市、佐々町)			長崎県	全国
	14週	15週	16週	16週	16週
インフルエンザ	9.25	5.00	2.00	1.40	1.85
新型コロナウイルス感染症	5.75	3.00	2.50	2.80	3.64
RSウイルス感染症	0.33	1.00	2.67	0.48	1.76
咽頭結膜熱	6.67	6.33	4.00	1.43	0.68
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.67	2.00	2.33	4.43	4.08
感染性胃腸炎	2.00	3.67	4.33	2.27	4.19
水痘	0	0	0	0.09	0.14
手足口病	1.67	3.33	3.33	0.68	0.45
伝染性紅斑	0.33	0	0	0.02	0.05
突発性発疹	0.67	0.67	0.67	0.41	0.30
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0.06
流行性耳下腺炎	0	0	0	0.05	0.05
急性出血性結膜炎				0	0.02
流行性角結膜炎				0.38	0.55
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.02
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.01
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0.25	0.13
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0.02


：警報レベル ：注意報レベル

【トピックス】 マダニやツツガムシが媒介する感染症に注意しましょう

マダニ類やツツガムシ類は、野外の藪や草むらに生息しているダニで、野生動物が出没する環境に多く生息しているほか、民家の裏山、裏庭、畑やあぜ道などにも生息しています。マダニ類は日本紅斑熱や重症熱性血小板症候群(SFTS)等を媒介し、ツツガムシ類はその名のとおりつつが虫病を媒介します。これらの感染症の報告数は、ダニの活動が活発になる4月から増加します。

2024年第16週までに、県内では4件の重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、1件のつつが虫病、1件の日本紅斑熱の患者が発生しています。マダニ類が媒介するSFTSは、発熱、消化器症状が主な症状で、重症化して死亡することもあります。近年、SFTSを発症したネコ及びビイヌの症例が確認されており、これらの動物の血液や糞便からSFTSウイルスが検出されています。動物を飼育している場合は過剰な触れ合いを控え、動物由来の感染に注意しましょう。

マダニ等が媒介する感染症の予防には、ダニに噛まれないことが重要です。野外で活動する際は、長袖、長ズボン、長靴を着用するなどして肌の露出を極力避けて感染防止に心がけましょう。もし、マダニ等咬まれたことに気づいた場合は、自分で無理に取るうとせず、皮膚科等の医療機関で適切に処置してもらいましょう。また、咬まれた後に発熱等の症状があった場合は、速やかに医療機関を受診し、受診した医療機関では、咬まれた状況などできるだけ詳細に説明しましょう。



長崎県感染症情報センターより

【注意喚起】 感染症胃腸炎について

感染症胃腸炎は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。第16週の報告数は100人で、前週より7人少なく、定点当たりの報告数は「2.27」でした。地区別にみると県北地区「4.33」、佐世保地区「3.50」、西彼地区「3.25」は、他の地区より多くなっています。

原因はノロウイルスやサポウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。

手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診しましょう。

【お知らせ】
令和6年3月で「新型コロナウイルス感染症の発生状況」の公表を終了しました。新型コロナウイルス感染症の発生状況に関する情報は、今後も「感染症情報速報(最新週)」に掲載します。長崎県ホームページにて検索、分類で探す>福祉・保健>感染症>感染症情報センター>感染症情報速報(最新週)